



## 2023年度第4回食・消費者委員会を開催しました!!

12月11日(月)に2023年度第4回食消費者委員会を、千葉県生協連会議室で開催しました。今回は、対面とZOOMでのハイブリットでの開催となりました。委員と学習会参加者、事務局の15人が参加しました。



令和6年度千葉県及び千葉市食品衛生監視指導計画への提言のための事前学習として、食の安全をテーマに開催しました。講師に日本生活協同組合連合会 品質保証本部 安全政策推進室 室長 早川敏幸さんをお願いし、説明いただきました。(文責:事務局)

### 1. 「食品安全に関する生協の取り組みと「リスクアナリシス」の枠組み(+食品表示制度の最近のトピックス)」(講演の抜粋)

講師: 日本生協連品質保証本部安全政策推進室 室長 早川敏幸さん

#### 食の安全に関する生協の取り組み

##### 食品安全に関する生協の取り組み

- ① CO・OP商品一つ一つの安全確保
- ② 食品安全に関する情報提供や学習活動
- ③ 社会全体の食品安全システムの向上を目指す

本日は③の内容をお話しします

CO・OP商品一つ一つの安全確保、食品安全に関する情報提供や学習活動といった取り組みのほか、社会全体の食品安全システムの向上を目指すために、例えば政府の審議会に委員として出席して意見を言ったり、あるいは意見募集に対してコメントを提出したりといった活動をおこなうことも食の安全に関する取り組みといえます。



#### 食品衛生法と食品安全基本法

食品衛生法は、戦後すぐに制定されました。食品の規格とか基準、あるいは保健所などが取締りを行う根拠となることについて、この法律で定めています。ここでは、消費者の役割として、食品の安全性の確保に関して「知識と理解を深める」ことと、行政などが行う施策について「意見を表明する」ことが示されました。

一方で食品安全基本法は、2003年と比較的最近できた法律で、基本理念とか施策の方針などについて定めている、どちらかというところ、食品安全を確保するための枠組みについて定めている法律です。この法律の中に、世界共通の食品の安全確保の枠組み=リスクアナリシス(リスク分析)の考え方が取り入れられました。

#### リスクアナリシスとは

リスクアナリシスの目的は、問題の発生を未然防止、悪影響の可能性を低減することです。リスクアナリシスは3つの要素でできています。**リスク評価**では、どのくらいの量なら大丈夫かということ判断する、その評価の機能です。それから**リスク管理**という、ルールを作る機能。リスク評価に基づいてルールを作る、というように、この二つの機能はお互いに関連しています。そして、これらを取り巻いて**リスクコミュニケーション**があります。リスク管理や評価に関わる人はもちろんですが、それ以外の関係者も、こうした評価や管理を進めていくプロセスの中で、情報や意見を交換していくことを示しています。当然、生協や消費者も含まれています。また、専門家は健康に影響

して気を付けるものに「病原性微生物」「食生活（過食や偏食、飲酒など）」「アレルギー」を考えていますが、現場の管理や消費者個人個人の意識の問題もあり、リスクアナリシスだけでは解決が難しい問題ではないか、と考えています。

#### ★参加者からの感想

- ・署名や学習会などの組合員活動が法改正などにつながったことはとても励みになりました。引き続き、私たちもそういった力になればと思います。

### 3. 各生協からの報告

#### ○なのはな生協

- ・11月2日 秋川牧園さんをお呼びして「知ってみよう、食べてみよう 秋川牧園」を開催しました。オンラインと会場同時開催で合計16名の組合員さんが参加されました。秋川牧園さんの鶏肉はなぜ安全なのかを教えていただいた後、丸鶏の解体実演では熱心に写真や動画を撮る等、たくさんの質問も上がりました。最後は試食をして参加者は「臭みがなくてとてもおいしい」と満足され楽しい交流会となりました。

#### ○パルシステム千葉

- ・直営農場パルグリーンファームで、10月14日(土)と28日(土)の2日間4回にわたり、さつまいも掘り企画を開催し、56世帯183名が参加しました。収穫後は、農場産の小松菜を使った菜飯おにぎりやさつまいも入りの豚汁を味わいました。県内の乗馬クラブより譲り受けた馬糞から作っている堆肥に触れ、匂いの無さと熱さに驚きの声を上げる子どもたちの姿も見られました。
- ・10月22日(日)には、ファイターズ鎌ヶ谷スタジアムにて商品展示会を開催し、約1,500名が来場して賑わいました。22社のメーカー・生産者が40ブースを設け、商品だけでなく施策や活動についても広く伝えることができ、交流も活発になされました。試食提供資材はプラ削減につとめ、配布しきれなかった試食品はメーカーから鎌ヶ谷こども食堂ネットワークへ寄贈していただきました。

#### ○生活クラブ生協

- ・11月17日(金)に、蘇我コミュニティセンターにて牛肉学習会を開催し、40名が参加しました。北海道から生産者を招き、生活クラブの牛肉について餌や育て方などを学びステーキの焼き方を教わって試食しました。
- ・12月3日(日)に虹いろフェスタを開催しました。18の生産者と試食を提供しながら、約600人の組合員とその家族や友人に消費材のアピールをしました。

#### ○コープみらい

- ・千葉1区ブロック企画「産地に行こう！」で房総食料センターに長ネギの収穫に行ってきました。参加者26人で長ネギの収穫と収穫後の出荷体験(長ネギを400gと生産者カードを入れる)をしました。午後は、生産者の方と交流し日本の農業の現状や千葉県の就農、害獣被害の状況や農業を守ることが自然を守ることにつながるなどのお話を聞くことができました。

◆次回 第5回食・消費者委員会 2024年2月15日 10時～12時 開催予定 以上